

G i k a i

おみたま市議会だより

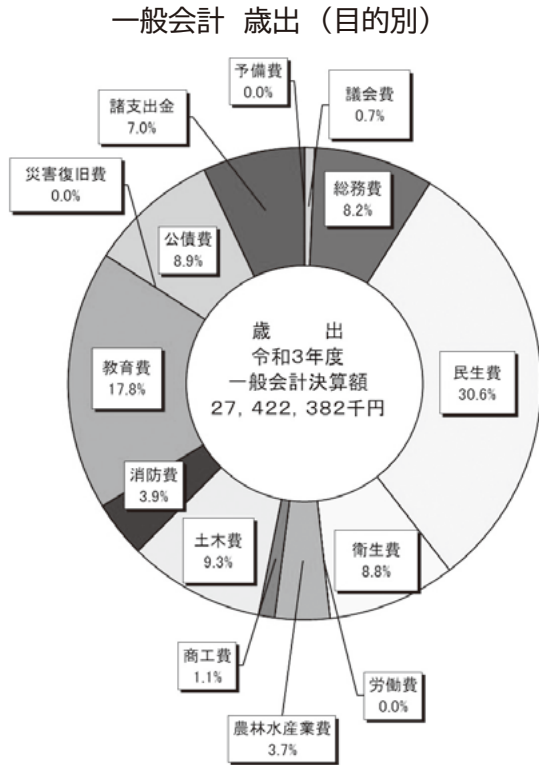


Contents

- 第3回定例会決算認定 P 2-3
- 決算特別委員会 P 4-5
- 審議結果一覧 P 6-7
- 常任委員会 Q & A P 8-9
- 一般質問 P 10-17

令和3年度 一般会計歳出予算 274億円 を認定

令和4年第3回定例会は、8月31日から9月22日までの23日間の会期で開かれ、令和3年度決算議案を含む31件の議案等を審議しました。健全化判断比率等の説明を受け、市財政の健全度を確認するとともに、決算議案は特別委員会での審査のあと、本会議で採決を行いました。（→議決結果は6、7ページ）

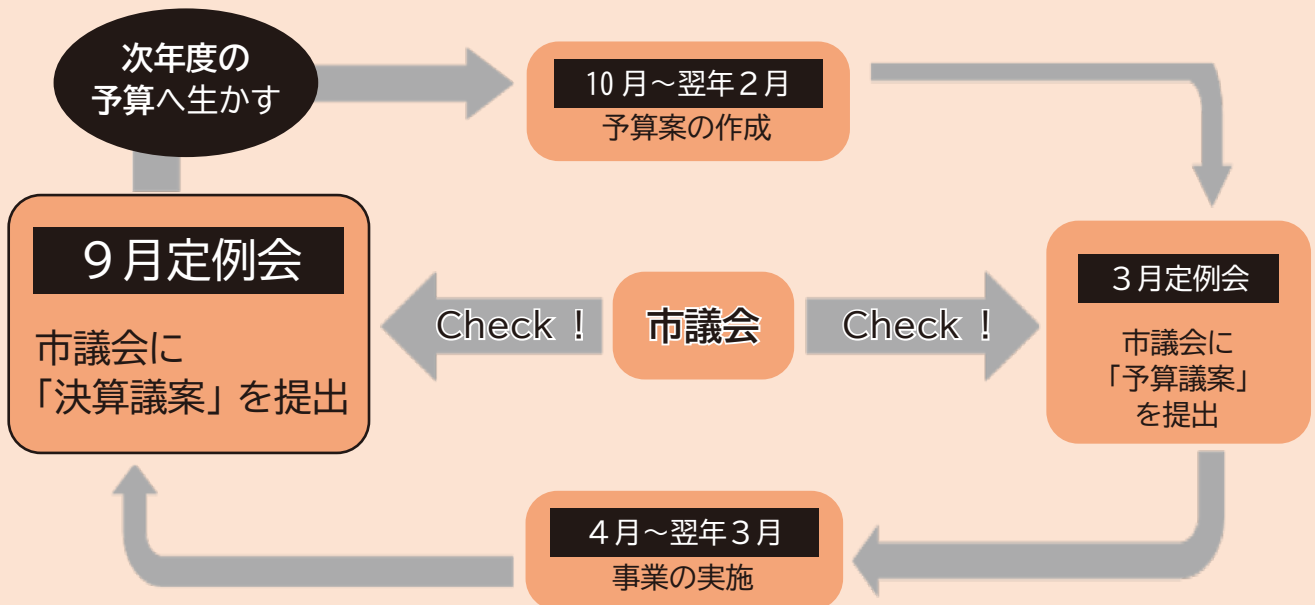


令和3年度 会計別の決算額

会計別	歳入(万円)	歳出(万円)	歳出の前年度比(%)	
一般会計	286億4,008	274億2,238	16.3 ↓	
特別会計	国民健康保険	49億4,833	0.3 ↓	
	後期高齢者医療保険	6億548	1.3 ↑	
	農業集落排水	3億2,697	12.4 ↑	
	戸別浄化槽	3,512	1.2 ↓	
	霊園	1,100	26.1 ↓	
	介護保険	(事業)	40億2,620	5.0 ↑
		(サービス)	756	21.8 ↑
合計	389億235	373億8,308	12.2 ↓	
企業会計	水道	収益的収支	8億683	2.4 ↑
		資本的収支	8億4,602	21.3 ↓
	下水道	収益的収支	11億2,250	1.4 ↑
		資本的収支	10億7,327	4.5 ↓

予算から決算へ そして次の予算へ

決算審査は次の予算編成につなげるための大事な審査で、未来に向けたサイクルの一環といえます。



市財政の健全化判断比率状況

今返済している借金は

実質公債費比率 6.7%

1年間に自由に使える収入のうち、どれくらい借金の返済に充てたのを見る比率です。この数値が高いと国や県等に頼らず、市独自で事業等を実施するための自由な財源が少ないことを意味します。

【令和3年度 比率の数値】

借入金を無理なく返済しながら、同時に事業を実施しています。

年度別	比率	早期健全化基準
R3	6.7%	25%
R2	7.3%	
R1	7.6%	

将来負担していく借金は

将来負担比率 42.3%

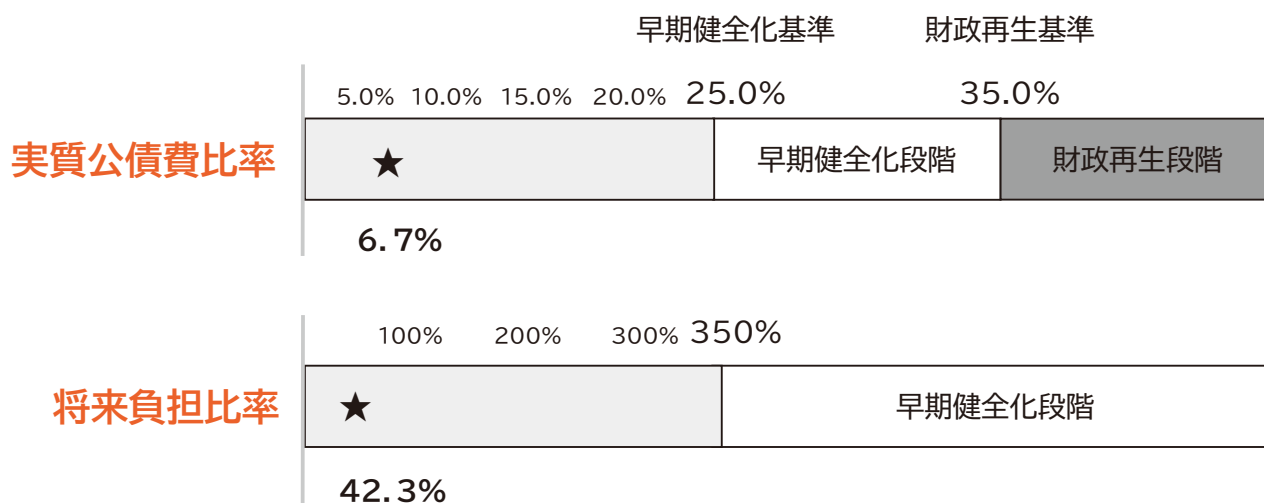
1年間に自由に使える収入に対して、市の負担となる借金などが、その何倍に及んでいるのを見る比率です。家計に例えると、住宅ローンの残高が年収の何倍になるかを表しています。

【令和3年度 比率の数値】

国が定める基準を大きく下回っていて良好な結果といえます。

年度別	比率	早期健全化基準
R3	42.3%	350%
R2	60.5%	
R1	64.5%	

早期健全化基準・財政再生基準のイメージ図



議員

効果と成果は、
集客の無い時間帯の変更を精査して
いるか伺う。

回答

令和3年9月より、コミュニティバスを
本格運行に移行し、運行ルートや運行時刻
を見直した。委託料の成果品としては、バ
ス車両3台のラッピング及びバス停217
箇所のデザイン変更を行った。日中便の利
用者が少ない時間帯については、利用状況
を分析し、「市地域公共交通会議」に諮りな
がら、効率の良い運行形態を模索していく。

決算議案

市内循環バスラッピング等委託料

市役所をはじめとする市の主要施設や、JR羽鳥駅、小
川駅などの交通結節点を結ぶ公共交通ネットワークを構築
し福祉の充実と高齢化社会に対応し、誰もが快適な移動手
段の確保を目的とする。

決算額 307万円



9月定例会では、市長から提出された令和3年度決算議
案の審査を行うため、9月12・13日決算特別委員会を開
催しました。議長と監査委員を除く18名の委員で構成され、
質疑通告制により慎重に審査を行いました。委員からどのよ
うな質疑や要望があったのか、その一部についてお知らせし
ます。

議員

結婚子育て応援事業の事業内容について
伺う。オンライン婚活事業での成果は。

回答

市内中学校の2年生及び義務教育学校8年生
を対象にし、ライフデザインセミナーを開催しました。
これからの結婚・出産、子育て等の将来のライフ
プランを考える必要性を自分自身の問題として気付い
てもらうとともに、自身のライフプランに応じた就
学や就職先を選択する必要性を理解し、将来設計
を考える機会をセミナーとして提供しました。
参加者：約400人

オンライン婚活事業

コロナ禍のため、対面での相談事業が難しくなっ
ている中、石岡市とともに進めている「石岡地方
結婚相談所運営協議会」では令和2年度からオ
ンライン婚活を実施しており、令和2年度の参加
者1組が昨年度ご成婚しました。また令和3年
度は2組が誕生しており、今後ご成婚が期待
されます。

決算議案

結婚推進事業

恋愛・結婚のイメージアップを図るとともに誰も
が参加したくなる出会いの場の創出を積極的に展開
することで、小美玉市に住む未婚の若者が、だん
だん結婚したくなるまちを目指す。

中学生を対象に結婚・妊娠・子育てについてのセ
ミナーを開催し、自分が今何をすべきか、どんな将
来を望み今後どのような行動をすべきかなど、立志
の時期に具体的な将来観・恋愛や結婚について考
える機会を提供することを目的とする。

決算額 260万円



決算議案

学校教育支援事業

言語障害の児童生徒への通級指導や不登校の児童生徒に対する適応指導の場を設け、学校や関係機関との連携のもとに支援を行う。

決算額 42 万円



議員

令和 3 年度におけるスクールソーシャルワーカーの活動状況等について伺う。

回答

令和 3 年度のスクールソーシャルワーカーは 3 名で、主な活動としては、発達検査や就学相談などを行っております。

令和 3 年度の相談件数

就学前幼児関係	782 件
小・中 義務教育学校関係	751 件
その他（市外施設対象者等）	102 件

決算議案

茨城空港利用促進協議会補助金

茨城空港の利用促進と地域振興を図るため、市茨城空港利用促進協議会の円滑かつ効果的な運営及び県利用促進協議会の活動を支援する。

決算額 300 万円

回答

茨城空港ファントムイルミネーションやファントム再塗装のためのクラウドファンディング事業、茨城空港応援大使採用と応援大使による PR 活動（アクセス道路開通記念イベント・茨城県政 150 周年記念茨城空港感謝祭など）第 14 回茨城空港ゆめ未来芸術展の開催などを行いました。

議員

補助金の具体的な使われ方について伺う。



決算議案

予防接種事業

予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより感染の恐れのある疾病の発生と蔓延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を図る。

決算額 1 億 2, 517 万円



議員

コロナワクチン接種が重点目標のため、一般的な予防接種が減っている。

要望

啓発とワクチン等の十分な確保を願う。

回答

市ホームページ及び子育てアプリに予防接種の必要性及び接種について掲載するとともに、乳児家庭全戸訪問で全対象者へ接種勧奨を行い、各健診会場においては母子健康手帳を確認し、個別に指導しています。

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
■報告 (1件)				
4	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度小美玉市一般会計補正予算)	[補正額] 1億5,341千円 [補正後額] 216億2,581万7千円	—	承認
■条例 (3件)				
50	小美玉市議会議員及び小美玉市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	公職選挙法施行令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	総務	可決
51	小美玉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	総務	可決
52	小美玉市希望ヶ丘弓道場条例の一部を改正する条例について	「小美玉市体育協会」が「小美玉市スポーツ協会」に名称が変更になったことに伴い、所要の改正を行うもの	文教福祉	可決
■補正予算 (10件)				
53	令和4年度小美玉市一般会計補正予算 (第5号)	[補正額] 5億6,479千円 [補正後額] 221億9,060万7千円	各委員会	可決
54	令和4年度小美玉市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	[補正額] 1,422万5千円 [補正後額] 52億5,430万1千円	文教福祉	可決
55	令和4年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計補正予算 (第1号)	[補正額] 768万2千円 [補正後額] 6億4,140万9千円	文教福祉	可決
56	令和4年度小美玉市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)	[補正額] 509万6千円 [補正後額] 3億2,712万4千円	産業建設	可決
57	令和4年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計補正予算 (第1号)	[補正額] 264万2千円 [補正後額] 4,545万2千円	産業建設	可決
58	令和4年度小美玉市霊園事業特別会計補正予算 (第1号)	[補正額] 108万2千円 [補正後額] 3,990万円	総務	可決
59	令和4年度小美玉市介護保険特別会計補正予算 (第1号)	【保険事業】 [補正額] 1億8,248万8千円 [補正後額] 42億317万6千円 【介護サービス】 [補正額] 205万2千円 [補正後額] 963万7千円	文教福祉	可決
60	令和4年度小美玉市水道事業補正予算 (第2号)	【収益的収入及び支出】 支出 [補正額] 1,504万1千円 [補正後額] 8億3,380万1千円	産業建設	可決
61	令和4年度小美玉市下水道事業補正予算 (第1号)	【収益的収入及び支出】 収入[補正額] △627万4千円 [補正後額] 12億1,277万円 支出[補正額] 401万7千円 [補正後額] 11億7,667万9千円	産業建設	可決
71	令和4年度小美玉市一般会計補正予算 (第6号)	[補正額] 5,060千円 [補正後額] 222億4,120千円	—	可決
■諮問 (3件)				
1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴い、菊池広己 氏を再推薦するもの	—	適任
2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	任期満了に伴い、竹内芳文 氏を再推薦するもの	—	適任
3	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	欠員に伴い、新たに 長谷川美智子 氏を推薦するもの	—	適任

議案番号	案件名	内容	付託委員会	審議結果
------	-----	----	-------	------

■決算（5件）

65	令和3年度小美玉市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	〔歳入〕 3億3,753万7千円 〔歳出〕 3億2,697万9千円	決算	認定
66	令和3年度小美玉市戸別浄化槽事業特別会計歳入歳出決算認定	〔歳入〕 3,856万6千円 〔歳出〕 3,512万9千円	決算	認定
67	令和3年度小美玉市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定	〔歳入〕 1,258万9千円 〔歳出〕 1,100万6千円	決算	認定
69	令和3年度小美玉市水道事業会計決算認定	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 8億5,954万3千円 〔歳出〕 8億683万2千円 【資本的収入及び支出】 〔歳入〕 5億3,691万2千円 〔歳出〕 8億4,602万9千円	決算	認定
70	令和3年度小美玉市下水道事業会計決算認定	【収益的収入及び支出】 〔歳入〕 12億7,444万6千円 〔歳出〕 11億2,250万6千円 【資本的収入及び支出】 〔歳入〕 6億4,669万4千円 〔歳出〕 10億7,327万9千円	決算	認定

■発議（1件）

4	小美玉市議会議員定数等調査研究特別委員会の設置について	小美玉市議会議員の定数及び報酬などに関する調査・研究をするため設置するもの	—	可決
---	-----------------------------	---------------------------------------	---	----

■請願（2件）

4	小美玉市玉里地区公民館の水道料金免除に関する請願書	請願者：玉里北学区代表 新田木谷区長 亀井優 玉里学区代表 第二東宝区長 吉倉一郎 玉里東学区代表 川中子区長 藤田 泰正 紹介議員：戸田 見良	産業建設	採択
5	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	請願者：茨城県教職員組合 執行委員長 中山 幸男 紹介議員：戸田 見良	文教福祉	採択

■陳情（1件）

2	生産資材高騰対策にかかる緊急要請	新ひたち野農業協同組合 代表理事組合長 細谷 博之	産業建設	採択
---	------------------	---------------------------	------	----

【賛否が分かれた議案等】 ※議長は採決に参加しません。

No	議案に対する賛否 賛成：○ 反対：●	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	付託委員会	審議結果
		山崎 晴生	真家 功	戸田 見良	香取 憲一	長津 智之	島田 清一郎	鈴木 俊一	村田 春樹	植木 弘子	石井 旭	谷仲 和雄	長島 幸男	岩本 好夫	福島 ヤヨヒ	小川 賢治	大槻 良明	田村 昌男	市村 文男	野村 武勝		
62	令和3年度小美玉市一般会計歳入歳出決算認定	〔歳入〕 286億4,008万4千円 〔歳出〕 274億2,238万2千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	決算	認定
63	令和3年度小美玉市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	〔歳入〕 50億4,601万8千円 〔歳出〕 49億4,833万5千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	決算	認定
64	令和3年度小美玉市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定	〔歳入〕 6億1,028万8千円 〔歳出〕 6億548万1千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	決算	認定
68	令和3年度小美玉市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	【保険事業】 〔歳入〕 42億765万3千円 〔歳出〕 40億2,620万9千円 【介護サービス】 〔歳入〕 961万7千円 〔歳出〕 756万3千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決算	認定
3	「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める陳情	請願者：茨城中央農民組合 代表 浅井紘一	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	産業建設	不採択

小美玉市議会には3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）があります。
議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。9月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

総務

(委員) 木取本井田家
◎植香 岩石戸真

◆戸籍住民基本台帳事務費

【議案第53号】

問 マイナンバーカード普及に向けて進んでいるが、段階を区切って目標率を上げていくことが必要だと思う。具体的な数値目標があれば伺う。

答 国・県の平均値を上回るような形を目標として、交付申請の啓発などを引き続き行っていく。小美玉市は令和4年8月末現在で交付率は42・6%である。

◆職員研修費

【議案第53号】

問 職員研修の内容について伺う。

答 当初、eラーニングによるコンプライアンス、ハラスメント、個人情報保護に関する研修を予定していたが、市長の所信表明における至急着手すべき項目としてあげられているDXの推進、人材育成、意識改革の取り組みとして、DXの推進、接遇、クレーム対応に関する研修を追加で計画している。

※ DX（デジタルトランスフォーメーション）進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させたい。

◆ふるさと寄附金事業

【議案第53号】

問 ふるさと納税大感謝祭参加者負担金とあるが内容について伺う。

答 北海道から沖縄まで100を超える自治体が一堂に集まる日本最大のふるさと納税のイベントである。自治体、事業者、生産者、寄付者が直接交流し、地域の魅力を伝え、返礼品のPRにより、寄付者の獲得につながるもの。



▲ RPA・AI・OCR 導入業務について

文教福祉

(委員) 田田村島仲木崎
◎村島市福谷 鈴木山

◆市独自に、不妊治療費補助金

【議案第53号】

問 不妊治療費補助金は、不妊治療費が保険適用になりましたが、小美玉市では今後も補助金を継続していくのか。

答 平成4年4月1日以降に開始された不妊治療については、県の補助事業が廃止となり助成の対象からはずれてしまうことから、経済的負担を軽減するため、保険適用の有無に関わらず、体外受精・顕微授精の生殖補助医療について、1人1回あたり10万円を上限に助成するもので、市の独自事業として、継続していきたい。

◆小学校、中学校、義務教育学校、幼稚園照明設備LED化事業 【議案第53号】

問 小学校、中学校、義務教育学校、幼稚園で照明設備のLED化が進むことは大変良いことだが、それに伴う改修工事が高額に感じるが、これは単に器具を取り換えるだけで済むのか。

答 今回の小学校、中学校、幼稚園、義務教育学校のLED照明設備の交換は器具のみの交換である。

産業建設

(委員) 島津村 村槻川
◎長 長野 田 大小

◆移住促進住宅取得補助金

【議案第53号】

問 補助金を増額した理由について伺う。

答 当初申請見込み30件だったのに対し、6月1日から6月30日の申込期間後43件の申請が確定したため。

※ 小美玉市に移住する方(転入者)の住宅取得費や取得した住宅の改修工事に対して一定の条件を満たす場合に補助金を交付する事業(新築住宅取得30万円・中古住宅取得20万円・中古住宅の改修10万円)

◆道路橋梁維持管理費

【議案第53号】

問 道路舗装・側溝補修等の実施予定場所について伺う。

答 側溝・縁石等補修工事22箇所(小川地区9・美野里地区6・玉里地区7)道路・路盤補修工事30箇所(小川10・美野里12・玉里8)を予定している。

◆水道事業会計補正予算(第2号)

【議案第60号】

問 動力費を増額した理由について伺う。

答 昨今の燃料費の高騰による電気料金の上昇に伴い、予算不足が見込まれるため増額する。



▲【現場視察】
上馬場・国道355号を結ぶ栗又四ヶ線



▲【現場視察】
国道6号千代田石岡工事バイパス工事



◆後期高齢者医療保険10月から自己負担割合変更

【議案第55号】

問 今回1割負担から2割負担になる方は何人くらいで、全体の何割くらいか。

答 8月末現在で、2割負担になる方が1,225名、全体の16.7%、3割負担の方は327名、4.5%、引き続き1割の方は5,775名、78.8%となる。

14名

一般質問

市政を質す！



皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して行う質問です。

- P 10 香取 憲一
- P 11 島田 清一郎
- 戸田 見良
- P 12 植木 弘子
- 小川 賢治
- P 13 福島 ヤヨビ
- 山崎 晴生
- P 14 石井 旭
- 長島 幸男
- P 15 長津 智之
- 鈴木 俊一
- P 16 真家 功
- 谷仲 和雄
- P 17 村田 春樹 ※質問順

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

小美玉農産物ブランド戦略室設置を要望する

積極的な支援体制と情報発信に努めていく



香取 憲一

Q 災害や緊急時における市の業務継続計画BCPの現状と課題について

A 危機管理監 災害時等において市役所機能を最大限発揮できる事を目的とし

て、本市では令和3年度末に策定をした。内閣府で示された6つの要素に照らし合わせ災害発生時の機能不全を防ぎ、早期に業務を実施できる指針としている

が、市役所内外の多数の関係機関や企業との迅速・正確な情報共有を図り、ポトルネツクの解消に努めていく。

Q 市内教育施設の遊具の現状と子ども達への身体発育に及ぼす影響について

A 教育部長 学校・幼稚園等の遊具は、文部科学省の指針に基づき、その安全性と耐久性を十分に兼ね備えた物を、学校にヒアリングを実施して整備設置している。子ども達の身体

のバランス感覚やルール、マナーを学ぶなど成長過程や学校生活において必要不可欠なツールとの認識から、引き続き安全管理と効果的な運用に努めていく。

要望 小美玉市遊具マップを作成し、子育て世代へ積極的に発信することを要望する。

Q 農業・酪農・畜産・鶏卵等へ、持続可能な支援体制を目指すには

A 産業経済部長 国際情勢の激変による影響は、農業者の経営努力のみでは解決不可能なので、日常的なものから緊急支援的な相談までを積極的に対応できる窓口の充実に加え、関係各機関との連携を更に密にして相談体制の充実に努める。

その他の質問

- 外部人材の登用において
- 地域プロジェクトマネージャの積極的な任用と活用に関する質問・要望



島田 清一郎

道路の整備の状況と要望について

安全・安心な環境づくりに努める

Q 最近頻繁に発生する集中豪雨に対して、道路側溝・排水路・河川の処理能力について長期的な計画の中で検討がされているか。

A 都市建設部長 道路側溝、排水路及び河川の施設の規模は、それぞれの計画雨量に対応して決定している。開発許可においては、流末河川に負担を与えないよう、ためることを軸に、調整池の大きさを10年確率で指導している。

維持管理については、集中豪雨における局所的な冠水に対応できるように浸透を軸とした標準設計の整備を進める。

Q 集中豪雨により碎石が流れてしまう急勾配の道路整備の考え方について

A 都市建設部長 周辺の土地利用を考慮しながら、その箇所にあった修繕方法を検討・採用していく。

Q 区長申請の道路整備の状況について

A 都市建設部長 過去3年の申請件数は14件で、内6件が補助事業の採択



▲羽鳥小学校北の交差点

を受けて事業化している。市道の整備は、特定財源を確保しながら進めており、採択まで数年を要する。区長申請の応答は、予算確保が確実となつてからで、計画説明会や測量の立入などの通知をもって対応している。

Q 羽鳥小学校北の国道355号と市道118号線交差点に右折矢印信号機は設置できないか。

A 都市建設部長 この交差点の信号は時差式信号機であり国道と市道との交通量に大きな差がないのに、国道の青信号の点灯時間が長いため、時間帯によっては市道側に渋滞が発生している。信号の点灯時間と矢印信号の設置について、石岡警察署と調整を図る。

小美玉市が目指す教育行政は

「粘り強く頑張れる、誰からも信用できる」と認められる人づくり



戸田 見良

水道行政について

小美玉市水道事業（小川・美野里）維持管理、財政計画の問題・課題答弁後

再Q 市民の生活水を守るために水道施設（取水・浄水・配水）の中で、大規模修繕・改築した方が

A 水道局長 水質・施設老朽の課題もあることから、各浄水場ともに取水井戸新設、こちらが急務。

要望 平成21年1月の水道料金改定から10年を経過する料金体系では必要な資金確保が難しいと答申に示されているので、水道事業崩壊をする前にきちんと検討する課題がある。

教育行政について

Q 教育長は何を目指しているのか

A 教育長 未来の宝であり地域で宝である子どもたちには、課題や困難に立ち向かうたくましきと人としての優しさを身につけ、「小美玉市で育った子は粘り強

く頑張れる、そして信用できる」と、誰からも認められる人づくりに努めてまいります。

Q その後の部活動地域活動への移行進捗状況は。



▲玉里学園義務教育学校

再Q ICT教育の充実活用、指導体制について

産業経済行政について

Q 玉里地区地籍調査の今後の見解は

A 産業経済部長 個人の財産である土地管理を容易にし、土地活用を円滑に進めることが目的なので再調査の効果が早期に現れるよう事業計画に基づき確実に進めて参ります。

終活をサポートする仕組みづくりを求める

従来事業の評価と拡充に努める



植木 弘子

終活支援について

Q ますます進む高齢化の中、市民の皆さまが小美玉市で安心して人生のエンディングを迎えられるように、終活をサポートする仕組みづくりを求める。

A 福祉部長 終活が市民にとって身近な話題となるよう、講演会・講座の開設や広報紙・ホームページでの情報発信と環境整備により、ひとり暮らし高齢者の皆さまの孤独・孤立を軽減し、安心して生き生きと過ごすことができますよう従来事業の評価と拡充に努めて参ります。

Q 特殊詐欺対策について、オレオレ詐欺防止機器の貸出等支援を求める。

A 福祉部長 迷惑防止機能付き電話機や自動通話録音機などの機器を活用した被害防止策は、国のオレオレ詐欺等対策プランにおいても、有効な対策として

推進されています。導入に向けての研究を進めて参りたい。

Q スマホ教室の進捗状況

A 福祉部長 高齢者をはじめ、情報端末に不慣れな方々を支援する事業に取り組んでいます。

Q 子どもの弱視早期発見について、視覚検査の精度向上を図って頂きたい。発見率を上げ治療につなげることは、本人とご家族の負担軽減に加え医療費の軽減につながる。そのため

の屈折検査機器の導入を求めます。

A 保健衛生部長 現在実施の視力検査と併用することにより、見落としすることなく検査の精度を上げることが期待されています。検査スタッフの確保及び場所の設定など、十分に協議を行い、取り組んで参りたい。

令和3年度財政状況について

Q 財政力指数の状況は

A 企画財政部長 令和2年度0.623%に比べ、令和3年度0.604%に下がりました。これは、コロナ禍において、基準財政収入額が前年度に比べ減少したことが要因です。

Q 実質収支比率状況は

A 企画財政部長 令和2年度3.7%に比べ、令和3年度の指数が7%に上がった。これは市税や交付金等が予算より多く入った事や臨時特別給付金給付事業等の歳出が見込みより少なかった事が主な要因です。

Q 経常収支比率の状況は

A 企画財政部長 令和2年度86.2%に比べ、令和3年度の指数が85%に下がりました。これは「経常一般財源等」のうち交付税が増額となったことが要因です。

Q 公債費負担比率の状況は

A 企画財政部長 令和2年度13.6%に比べ、令和3年度12.9%に下がりました。これは、普通交付税が前年度より6億円増加し、一般財源総額が増加したことが要因です。

小美玉市公共施設等総合管理計画について

本市が保有する施設を対象とする公共施設の改善策の進捗状況について伺う

Q 羽鳥公民館、羽鳥ふれあいセンターの羽鳥駅東口複合施設への集約化について

A 総務部長 複合施設の設定、運営で事業者を公募したが、応募がなかった。今後整備手法を含めて検討したい。

Q 農村女性の家の納場幼稚園の機能移転について

A 総務部長 早急な機能移転が必要と考える。納場小学校と協議する。

Q 農村環境改善センターと竹原小学校の複合化、美野里公民館、図書館と堅倉小学校との複合化について

A 総務部長 ともに旧耐震基準の施設であり、老朽化が著しい施設です。複合化後の施設管理や運営方法等も含め、先進事例における調査、研究を進めている。

Q 羽鳥小学校、納場小学校の統合について

A 総務部長 保護者や地域住民の意見を聞きながら、財政状況や児童生徒の人口動

態を検証したうえで、個別計画の見直しを再度検討する。



▲小美玉市立羽鳥小学校



小川 賢治

羽鳥小学校、納場小学校の統合は

保護者や地域住民の意見を聞きながら、個別計画の見直し、再度検討する



公共施設個別計画は利用団体との話し合い、意見交換を早急に

施設の利用状況調査やアンケート等を実施し、調整を図る

福島 ヤヨヒ

- Q** 廃校となった各小学校の現状と今後の対応はどうか。解体までの有効活用はないのか。公民館等で解体の施設の今後の個々の計画についてはどう進められるのか。また今施設を利用し活動している団体等との話し合いや意見交換はどのように進められていくのか。
- A** 総務部長 計画に基づき順次進めていく。安全性を考え、5年以内に解体する。跡地利用は計画に基づき内部で協議している。敷地が借地の幼稚園は補正予算を行い早急に解体し返還する。公民館等についてもスケジュールに沿って利用団体との調整や機能移転の調整を行っていく。
- Q** 協議の中で市民の声を聴いているのか。利用している団体などはどのように話し合いを行うのか。
- A** 文化スポーツ振興部長 利用状況の調査やアンケート等を実施し調整を図っていく。
- Q** 市民の声を市長はどう受け止めていくのか。
- A** 市長 タウンミーティングなどで市民の意見を十分に聞いていきたい。
- Q** 給食費の無償化や減額を望むが如何か。地産地消は進んでいるか。有機農法を進め給食に取り入れるは如何か。
- A** 教育部長 無償化は財源確保が必要となるため慎重に検討する。地産地消に対しては、白米、ニラ、チンゲン菜、鶏卵は年間を通して市内生産者から購入。小美玉ヨーグルトも毎月提供している。今後も生産者、納入業者とコミュニケーションを取りながら活用割合の向上を目指す。有機米等は供給量の確保が課題なので農政課と連携を図り検討する。
- Q** 有権者を守る選挙について投票時間は午後8時までとすべきではないか。選挙公報はすべての市民に届けるべきと思う。誰もが投票できる仕組みができているか。期日前投票では投票箱が移動するとか、投票の仕方の工夫はないのか。交通手段にも配慮を。
- A** 総務部長 期日前の午後8時までが定着している。その他広報配布等先進事例を参考に検討を重ねる。



1円でも市民からの税金であり的確な予算執行で市民サービスの向上を

不用額の発生状況を的確に把握分析し問題点・改善点を洗い出し次年度に生かす

山崎 晴生

- Q** ①計画性②弾力性③積極性の3つの観点から見た現在の小美玉市財政運営について所見を伺う。
- A** 企画財政部長 ①四半期配当制を実施し各課が予算執行に責任を持ち収支の均衡を保っている。②弾力性は十分確保できていると考えるが今後も経常的経費の抑制を図り弾力性を確保する。③予算額と決算額の乖離が生じないよう実質収支比率3〜5%程度になるよう努める。
- Q** 物価高騰により福祉施設運営は大きく影響を受けているが、安定的なサービス提供の為に、市として福祉施設援助についてどう考えているのか見解を伺う。
- A** 福祉部長 物価高騰により社会福祉施設運営に不安を抱えている状況を推測する。関係各課と連携調整の上、福祉施設への支援を検討する。
- 要望** 市民が安心して今後も福祉サービスを受けられるよう、施設への早急な支援を強く要望します。
- Q** 今後の地域医療における小美玉市医療センターの役割について。
- A** 市長 小美玉市医療センターについては、地域医療を担い市民のための中心的医療機関を目指していただくよう、連携を密に安定的かつ持続可能な医療提供体制の整備に努めていく。
- 要望** 小美玉市医療センターが更に地域に根差した医療機関となるよう、市から訪問診療・訪問看護の在宅医療サービス事業所設置の働きかけを要望します。



▲小美玉市医療センター

まちづくり構想基本計画（案）空の駅『そらら』の見直しを提言する

課題解決に向け、体験型施設などいろいろな機能を盛り込む



石井 旭

Qまちづくり構想推進委員会の御意見や市民パブリックコメントでは、外部コンサルタント会社任せで、担当職員が考え抜いていないから、やるのが目的の公共事業の典型的な失敗事例となる誰も責任を取らないことから脱却し、勇気を持った見直しを提言する。特に、YS-11の設置など『そらら』だけに17億8千万円も投入するのは税金の無駄になるので市内施設全体で大きく見直しを提言する。

A産業建設部長 パブリックコメントでは、施設の整備内容や構想全体への意見など6件の意見をいただいた。これらの意見は、実施計画策定時や構想の実現に向けて参考とさせていただきます。現在策定している基本計画には、これまでの「そらら」運営上のさまざまな課題解決に向け、体験型施設などいろいろな機能を盛り込んでいる。『そらら』に指定管理者制度導入と地域おこし協力隊の再度募集と道の駅支援会社『シカケ』道の駅再生請負人の活用を提案する。

A産業建設部長 「そらら」の運営は、指定管理者制度の導入による、効果的かつ効果的な施設運営を想定しており、「そらら」の拡張計画の進捗に合わせ、できるだけ早い段階での導入を考えられている。地域おこし協力隊の再度募集は、全国的にも多くの地域活性化に結びついている成功事例があるが、様々な課題もあることから、課題を整理し活用に向けた検討が必要である。道の駅支援会社シカケの活用については、「そらら」がより一層発展していくために、強い民間企業の協力を得ることで、地域にとって大きなプラスを生み出すことは、極めて重要である。そのため、地域おこし協力隊の活用と併せ、民間企業のノウハウを活用し、「そらら」を発展させるため、あらゆる選択肢を検討し課題解決に努める。

Q『そらら』に指定管理者制度導入と地域おこし協力隊の再度募集と道の駅支援会社『シカケ』道の駅再生請負人の活用を提案する。

本市の移住・定住対策は

「小美玉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「移住・定住促進」を政策分野に位置付け、各種事業を進めている。



長島 幸男

Q現在の移住・定住対策は

A企画財政部長 今年度より「移住促進住宅取得補助金」の制度を拡充しました。その他の取組みについては、「移住者向けコミュニティ情報発信事業」、「空き家活用事業」、「小美玉版デジタルコミュニケーション事業」、「学校におけるシティブロモーション事業」、「高校・大学との連携事業」、「ダイヤモンドシティ・プロモーション事業」、「ダイヤモンドシティ・ブランド活用事業」を第2期総合戦略の事業として位置付けて取り組んでおります。

Q本市の転入・転出状況は

A企画財政部長 市内における転入先として羽鳥地区が3年間で1,022名

と多い状況です。要因は住環境や保育施設、教育環境等がバランス良く整備されているためと考えられます。県内の市町村から市への転入先として一番多いのは石岡市、次いで、水戸市、笠間市となっています。

Q今までの状況と成果は

A企画財政部長 現在は転出超過が続いている状況です。今年度に拡充した「移住促進住宅取得助成事業」やシティブロモーションも含めた情報発信についての取組みは進んでいます。移住定住促進に向けては助成金や情報発信だけでなく子育てや仕事なども含めた複合的な取組みが必要で、それが相手に届く仕組みづくりをすることで成果が生まれるものと考えます。

Q今後の対策は

A企画財政部長 総合戦略だけでなく、現在、策定中の第2次総合計画後期基本計画の中でも、人口維持に向けた市全体の移住定住施策を盛り込み、総合的な取組みを地道に継続していくことが大切だと考えています。

	転入	転出	差
令和元年	1,419	1,769	▲350
令和2年	1,602	1,841	▲239
令和3年	1,400	1,696	▲296

▲3年間で885名の方が市外に転出している。外国籍の方を含まない数値（単位：名）

その他の質問
マイナンバーカード制度普及実績とその活用状況
推進（広報）活動



市道玉 313 号線の改良工事の計画について

側溝を含め改良工事を実施いたします！

長津 智之

として農業生産の向上が大きく期待され、同時に生活道路として利便性も更に向上する側溝を含む全幅員 5.6 m、延長約 900 m の改良工事を行う。

Q 上高崎区には、3 市 1 町の環境行政の拠点整備で、各自治体の目玉事業である、新ごみ処理施設の整備がされました。このごみ処理施設はインフラ整備の最重要施設であることを十分理解し反対運動もありませんでした。そこで上高崎区民は、この施設の建設説明会に要望いたしました市道玉 313 号線の改良工事について、現在の調整状況や、改良工事の計画状況を伺う。

A 都市建設部長 この道路は高崎市内の霞台厚生施設と株本田霞ヶ浦工場を結ぶ道路です。上高崎区長より地権者同意書が添付された道路整備要望書が提出されており、市としては、農振農用地を繋ぐ農道として農業生産の向上が大きく期待され、同時に生活道路として利便性も更に向上する側溝を含む全幅員 5.6 m、延長約 900 m の改良工事を行う。

また新規参入の促進状況は、過去 3 年間で 19 名の新規参入者があった。

Q 国は今年 5 月の国会で農地の集約化と人の確保、育成、農地保全による荒廃防止を目指す、人農地関連法案が成立しました。そこで、本市の具体的な耕作放棄地の発生防止の取り組みや、就農における新規参入者の促進状況について伺う。

A 農業委員会事務局長 荒廃農地の実態把握と発生防止解消対策や違反転用発生防止対策等を重点的に取り組むことを目的とした農地パトロールを農業委員並びに農地利用最適化推進委員が行っている。また新規参入の促進状況は、過去 3 年間で 19 名の新規参入者があった。



▲市道玉 313 号線

若者の非婚化対策こそが人口減少対策に

オンラインや AI を活用して結婚相談を検討していく



鈴木 俊一



Q 学力診断テストの結果は **A** 教育長 令和 3 年度の学力診断テストでは、県平均をやや下回りましたが、学年が上がるごとに、県平均との差が小さくなり、改善の方向に向かっております。算数・数学にやや課題が見られました。

Q 2 時間以上家庭で勉強しても、スマホを 3 時間以上使ってしまうと、その勉強した内容が全部無駄になってしまおうということが分かりましたが、本市の児童生徒のスマートフォン利用状況は。

A 教育長 平日 2 時間以上スマホを使用している本市の小学 6 年生は 35%、中学 3 年生は 47.5% でした。小学生中学生共に、使用時間が長時間になるにつれ、

期待されています。オンラインや AI を活用しての結婚相談も検討していく必要がある。

各教科の正答率が低下している傾向が見られました。

Q 堅倉小学校区内のバス通学の保護者負担は **A** 教育長 令和 3 年 4 月から、公共交通の存続に加えて、堅倉小学校区における遠距離通学児童を無償とし、保護者の負担軽減の見直しを行いました。

Q 発生結婚出生数は、1990 年代以降、ずっと 1.5 人で変わっていない。婚姻数が 1 増えると計算上、1.5 人の子供が生まれるということになる。若者の非婚化対策こそが結果的に人口減少対策につながるが、市の取り組みは。

A 市長公室長 石岡地方結婚相談所運営協議会では、令和 2 年度に 1 組がご成婚されました。令和 3 年度の参加者から 2 組のカップルが誕生してご成婚が期待されています。オンラインや AI を活用しての結婚相談も検討していく必要がある。

「空のえきそ・ら・ら拡張計画」：導入機能（YS-11の展示）の可否

今後行われる実施計画の中で慎重に検討していく。



真家 功

空のえき「そ・ら・ら」の拡張計画まちづくり構想基本計画について伺う。

Q 空のえき「そ・ら・ら」の拡張計画、まちづくり構想基本計画が示された。この基本計画によると、空のえき「そ・ら・ら」の敷地を拡張して、旅客機YS-11などの展示を行い、空港導入エリアとしての機能を強化するとして、実施に向け進められている。また、概算事業費を見ると、全体で17億8,000万円であり、このYS-11の展示には相当なる予算がかかると思われる。集客のための目的で計画されたと思うが、本当にメインとするほど必要なものなのか。今、市民が望んでいる施設は、子供を連れて行ける場所、子供の遊び場になる公園的な場所を望んでいる。よくそつという施設が欲しいという声を聞いている。それらを踏まえ、導入機能としてのYS-11の展示と概算事業費の見直しを是非すべきだと思うが、見解を伺う。

A 産業経済部長 導入する機能については、「小美玉市まちづくり構想推進委員会」で様々な意見をいただいております。議員からご指摘のYS-11などの飛行機の展示については、インシャルコスト及びランニングコストが大きく、将来にわたりコスト面の懸念があることから、慎重に導入を検討すべきとのご意見をいただいている。また、概算事業費として、約17億8,000万円と算定しており、内容は土木工事約4億7,000万円、建築工事費で6億6,000万円、土地取得費に約2億円、旅客機の機体購入・設置費に4億5,000万円と試算している。したがって、今後行われる実施計画の中で慎重に検討する。

最後に、市長に伺う。Q市のまちづくりを進める中では、「そ・ら・ら」の活性化は重要である。私は、この計画全てが悪いと言っているわけではない。この計画のよいところは進め、見直すべきところは見直すといったことが必要であり、ぜひ、市長の考えを十分に反映した計画にしてほしいと思うが、市長はそのような考えはあるのか伺う。

A 市長 まちづくり構想の中の計画である「そ・ら・ら拡張計画」については、私の公約の中にあります「空港を核としたにぎわいづくり」に寄与するものと考えている。新たなまちづくりを実現するため、私の公約に基づき検討してまいりたいと考えている。

その他の質問 「重層的支援体制整備事業」の推進について

実質単年度収支の連続赤字の回避が論点となる

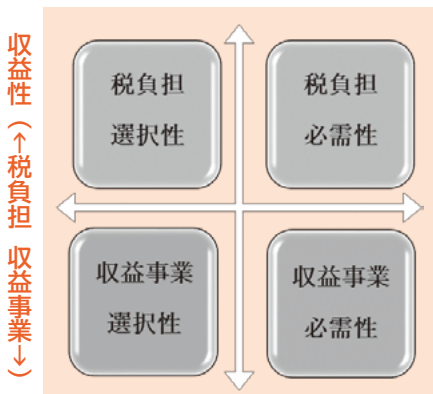
事務事業の取捨選択を令和5年度予算編成方針に反映させる



谷仲 和雄

Q 近年における一般財源の歳出傾向を踏まえ、実質単年度収支ゼロの均衡財政について、市の見解は。

▼公共（行政）関与度のマトリクス図（質問のイメージ）



A 企画財政部長 令和3年度の単年度収支は約5億7千万円の黒字となったが、財政が好転したのではなく、歳入超過、歳入不足、又は不用額、それぞれ状況から計算される収支の規模が前年度を上回ったということ。コロナ禍による先行き不透明感により市税等の大幅な増額が見込めない状況や扶助費や公費費の義務的経費、継続中の普通建設事業費や道路維持管理経費の増大等も見込ま

れることから、実質単年度収支ゼロの均衡財政は厳しいと考えている。

Q 答弁を踏まえ、今後、実質単年度収支の連続赤字回避が論点となる。そこで、行政評価に基づく事務事業の取捨選択を令和5年度予算編成にどのように反映させていくか。

A 市長 少子高齢化やコロナ禍など厳しい状況にあるが、予算編成を変革する好機と捉え、新しい生活様式への対応やDX推進計画によるスマート自治体を進めることにより、事務事業の取捨選択を大胆に決断し、確実に実行していきたい。令和5年度の予算編成方針には、この考えを反映させ予算編成するよう指示する。

その他の質問 資金繰りとなる会計実務から、基金からの繰替運用、一時借入れの傾向、不用額を抑える資金管理の工夫について

カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量を均等させ、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること



期日前投票所の新設について

試験的に期日前投票所を開設する

村田 春樹

Q 期日前投票所新設について、現在の進捗状況を伺いたい

A 総務部長 本格的な設置の前に、年内に予定されている茨城県議会議員一般選挙の際に試験的に新たに期日前投票所を開設し、その有効性や効果を検証していく。

Q 2050年カーボンニュートラルに向けた進捗状況について

A 市民生活部長 本計画における市の地球温暖化対策の主な取組みは、いばらき県央地域連携中核都市圏9市町村による温室効果ガスの削減を図るため、ノーマイカーウィークやエコドライブの実践などによる「エコライフチャレンジ事業」、公共施設における照明のLED化を含めたエコオフィスの推進などを行っている。

Q ゼロカーボンを実現するため、小美玉市内全公共施設に電気自動車の電気スタンド設置を提案する

て検討する。

Q 大規模災害に備え、再生エネルギーの活用を提案する

A 市民生活部長 建物等更新時期の分散、財政負担の平準化等を考慮しながら、公共施設への再生可能エネルギーの活用又はゼロエネルギービル化なども含め、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて検討する。



▲電気自動車用スタンド

A 市民生活部長 二酸化炭素の排出量を抑制する効果の高い電気自動車と電気スタンドの公共施設への設置については、国内外の自動車メーカーが電気自動車の導入に積極的に取り組んでおり、急速にその普及が進んでいる現状を踏まえ、「ゼロカーボンシティ」の推進、市民サービス向上の観点から、今後計画的に取り組みたい。

プレゼントクイズ

第65回 プレゼントクイズ

今回の議会だより第67号の中から、問題を3つ出題します。正解した方の中から抽選で、10名の方に空のえきそ・ら・ら「フードコートレストランかぐや」で利用できる食事券(2,000円分)をプレゼントします。ぜひご応募ください！

令和4年第3回定例会

- 問① 令和3年度一般会計歳出予算
決算額は〇〇〇億円で認定。
- 問② 決算特別委員会 市内循環バスラッピング等
委託料決算額は〇〇〇万円。
- 問③ 一般質問者数は〇〇名。

◇応募方法 はがき・FAXなどで、住所、氏名、クイズの答えを明記してご応募ください。また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

◇締め切り 令和4年11月30日(水)まで
*当日消印有効

◇応募先 〒319-0192 小美玉市堅倉 835
小美玉市役所議会事務局宛 FAX : 0299-48-1199
☆応募に関する個人情報は、プレゼントの送付以外には利用しません。
☆クイズ当選者発表は食事券の発送をもってお知らせします。



応募用 QR

◆第64回クイズの正解： 問① 13 問② 11 問③ 禁止

会議録検索システムをご利用ください

市議会のホームページから会議録を簡単に閲覧・検索できます。「会議録の閲覧・検索」をクリックすると検索画面に移ります。日付や気になるキーワードなどを入力すると簡単に検索できますので、議会で何が議論されているかぜひご覧ください。



つくばエクスプレス延伸 要望書 署名簿 を 提出

つくばエクスプレス（TX）の茨城空港を經由した水戸方面への延伸を目指す「TX 水戸・茨城空港延伸促進協議会」（会長・高橋靖水戸市長）の副会長でもある島田市長をはじめ、荒川議長、岩本商工会副会長の3名が、横山征成副知事に「要望書」と集まった93,441筆分の「署名簿」を提出しました。



▲副知事に「要望書」と「署名簿」を提出(8月24日 茨城県庁)

つくばエクスプレスの延伸が実現することにより、鉄道沿線住民の利便性向上及び、地域のイメージアップに伴う企業誘致による産業の活性化などが期待されます。

TX 延伸が実現することを祈ってます。(高崎・S)

市民の声



個々の議員さんの活動がよくわかり、市を少しでも良くしていこうと気持ちが伝わります。頑張ってください。(小川・N)

おみたま市議会だよりは、わかりやすく書かれていて、とても見やすいと思います。つくばエクスプレスの茨城空港延伸が実現するとすごく良いと思います。(小川・T)

「議員の会話」を読んで、なかなか勉強してらっしゃる議員さんだと感心しています。議員同志の会話、意見の活発者多めに語り合ってください。そして市民の耳にささいな事でも伝えて下さい。どうぞ暑さに負けず頑張ってください。(田木谷・T)

旧岩間の住人です。羽鳥が生活圈であり、旧美野里はどんどんひらけてきており、うらやましくなります。市報や議会だよりを見ると、いろいろな課題がありますね。(笠間市・E)

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございました。

と ぴ っ く す

議員定数等研究特別委員会 を 設置

定例会最終日に、「小美玉市議会議員定数等調査研究特別委員会の設置」を議員発議し、可決されました。

現在の議員定数及び報酬が市民の負託に応える適正なものか、人口規模や財政状況の類似自治体の現況などをもとに、さらに調査・研究するための特別委員会です。

【構成】

委員 長) 岩本 好夫
 副委員 長) 島田 清一郎
 福島 ヤヨヒ・長島 幸男
 谷仲 和雄・石井 旭
 植木 弘子・村田 春樹
 鈴木 俊一・山崎 晴生

【議員定数の経過】

時 期	条例定数	内容など
平成 18 年 3 月	28	「小美玉市」誕生 ※合併による在任特例 議員 49 名
平成 18 年 12 月	24	定数条例を制定 (次回改選時から施行)
平成 19 年 12 月 改選		議員 24 名
平成 23 年 6 月	22	定数条例を改正 (次回改選時から施行)
平成 23 年 12 月 改選		議員 22 名
平成 27 年 8 月	20	定数条例を改正 (次回改選時から施行)
平成 27 年 12 月 改選		議員 20 名

議会報告会の中止について

市民に対して議会の結果を報告し、市民と意見を交換する場として、毎年議会報告会を開催してきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。議会報告会でお配りする予定でした議会活動についての資料をウェブサイトに掲載しています。



インターネット配信を開始します

市議会ホームページから本会議の様様をインターネット配信します。パソコン・スマートフォンからもご視聴になれます。
(12月定例会から配信予定)





▲茨城大学2年富田千裕さん・茨城大学3年高橋由衣さん

若者の政治意識をより高く

議員インターンシップ制度により、大学生が本会議を傍聴に訪れました。この制度は、若者の政治への興味関心を喚起することで、若年層の政治離れを抑止し、社会経験を通じた精神的成長を目的としています。

・地域をよりよくするために様々な政策が考案・実施されていることを知りました。そして、より小美玉市という地域とその政治をより身近に感じることができました。
茨城大学3年 高橋由衣

・小美玉市の課題や現状を理解することができました。また、議員さんたちが、市民の立場でより良い小美玉市にするにはどうすれば良いのかを熟考し、こと細かに政策を考えている姿がとても印象的でした。
茨城大学2年 富田千裕

12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30	12/1 本会議 (開会、議案説明等)	2	3
4	5	6	7 本会議 (一般質問)	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10
11	12	13 常任委員会	14 常任委員会	15 常任委員会	16	17
18	19	20 本会議 (報告、採決 閉会)	21	22	23	24

※休会中は議案調査等を行います。

次の定例会は

12月1日(木) 開会予定

*議場(市役所本庁舎3階)での傍聴には、簡単な受付(氏名・住所等の記入)が必要です。新型コロナウイルス感染拡大防止の対応策として、3密(密閉・密集・密接)を避けるために入場制限をします。ご理解をお願いします。

*委員会等の詳しい日程については、11月30日に開催する議会運営委員会で協議します。議会事務局までお問い合わせください。

*定例会中の本会議(一般質問など)は、同時放映を行っています。本庁舎、小川総合支所、玉里総合支所1階ロビーに設置されているTVモニターでご自由にご覧いただけます(受付は不要)。

会議の種類	傍聴	中継
本会議	可	有
委員会	要確認	無

編集後記

暑さ寒さも彼岸まで、と言いますが、酷暑、猛暑の夏が終わり、天高く馬肥ゆる秋となり、霞ヶ浦湖岸のコスモスも咲き始めました。

小美玉市議会第3回定例会も8月31日に開会し、9月22日までの23日間にわたり慎重なる審議、審査を行い無事閉会いたしました。今回の定例会は、前年度の決算を審議する為の決算特別委員会を設置いたしました。そのため、決算議会とも言われております。

新型コロナウイルス感染対策が、約2年半にわたって行われた、外出自粛や営業時間短縮、学校の分散登校、部活動の制限など行動制限指針が廃止になりました。季節性インフルエンザと同じ水準になっています。やっと収束へ?しかし、まだまだ基本的な新型コロナウイルス感染対策を行いながら、住民福祉の向上を目指し邁進してまいります。

長津 智之

発行編集責任者	議長	荒川 一秀
広報特別委員会	委員長	植木 弘子
	副委員長	戸田 見良
委員	委員	鈴木 俊一
委員	委員	島田 清一郎
委員	委員	長津 智之
委員	委員	香取 憲一
委員	委員	真家 功

◆67号の表紙 元気っ子幼稚園の運動会

快晴の下、幼児たちが元気に走る様子を撮影しました。(10月2日)



環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

